

発行/市民活動サポートセンターいなぎ
運営協議会

事務局/〒206-0802

稲城市東長沼2112-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話042-378-2112

E-mail:info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/

金曜サロンスペシャル

当サポートセンターでは毎月第一金曜日を「金曜サロンスペシャル」として毎回テーマを決めて、話し手を囲みざつぱらんな雰囲気で行っています。

皆様お誘い合わせの上ぜひご参加ください(無料)

- 11月4日/「私が見た中国の稲城」
/話し手:石田錠二さん(稲城国際交流の会)
- 12月2日/「デンマークに学ぶ子育て文化」
/話し手:角田亨さん
(NPO法人・子どもの森芸術文化振興基金)

NPO 講座のお知らせ

～まちを元気にするために～

3回の「入門編」に引き続き、「実践編」を下記のように実施します。お気軽に受講してください。

《Ⅱ》実践編《だれにでも分かるNPOの会計》

- 日時 11月12日(土) 10:00~17:00
※ただし、12:00~13:00は昼休み
- 会場 稲城市地域振興プラザ4階
- 会費 資料代(ワークブック2冊) 1,000円(会計編、税務編 各500円)
※ワークブックは東京ボランティア・市民活動センターが発行したものを使用しますので、すでにお持ちの方は購入する必要がありません。申し込みの際にその旨お申し出ください。
- 用意するもの 電卓、筆記用具
- 講師 内藤 純先生(ないとうじゅん)
公認会計士・税理士
東京ボランティア・市民活動センター専門相談員
- 主催 稲城市協働推進課
市民活動サポートセンターいなぎ 運営協議会
.....
- 受講を希望される方は11月4日(金)までに
市役所協働推進課(☎042-378-2112)
までお申し出下さい。

あいのまちいなぎ市民祭に出展

10月22日(土)~23日(日)

「市民活動サポートセンターいなぎ」もテントを借りて出展します。市内で活動をしている団体の紹介やPRチラシなどが置いてあります。

サロン風のスペースがありますので話し合いや相

談などが出来ますので、ぜひお出かけください。

当日テント内で市民活動を行っている登録団体の紹介をします。活動紹介の展示やパンフレットの配布を希望する団体は、下記にご連絡ください。

■問合せ先:市役所協働推進課

☎378-2112

とても参考になった NPO講座「入門編」

稲城市協働推進課と市民活動サポートセンターいなぎ運営協議会の初めての共催事業としてNPO講座が3週連続で開催されました。今回の



▲大川講師

講座は、入門編でNPOに関心のある方ならどなたでも参加できるよう分かりやすい内容でした。各回30

人以上の方にご参加いただき、本当にありがとうございました。

★ ★

講師は、多摩大学講師でNPOや新しいコミュニティビジネスという分野での第一人者である大川^{あらいと}新人さんです。先生の話から、今まで知らなかったことやこれまでとは違った角度からの見方などたくさんの事を教えていただきました。お忙しいなかお越しいただきありがとうございました。

第1回目 (9月15日)

「ボランティア・NPO の楽しみ方」

- ・自発的にやるのがボランティア。楽しみながら、無理なくやる。
- ・NPOの2つの特徴
 1. 利益を関係者に分配してはいけない(非営利分配)

2. 不特定多数の利益になる(公益性)

第2回目 (9月22日)

「成功するNPO

失敗するNPO」

- ・NPO法人は、行政からのお墨つき、行政から補助金がもらえる、税制メリットが得られるなど、誤解されている面がある。
- ・NPO法人はメリットもあるけどデメリットもある。取らないで運営できるならその方がいいし、活動していく上で不都合が生じたときに法人格を取ればいい。
- ・成功したNPOの事例として

1. コミュニティレストラン(シルバーストラン)：NPO法人「高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会」

2. 子育て支援の事例：NPO法人「北海道子育て支援ワークショップ」

3. まちづくりの事例：NPO法人「フュージョン長池」

4. リサイクルショップ(障害者の就労支援)の事例：NPO



法人「ちいさば」

第3回目 (9月29日)

「さあ起業しよう！」

NPO・コミュニティビジネス」

これからのNPOを考えるキーワードが「コミュニティビジネス」です。コミュニティ(地域社会)ビジネス(事業)とは、「地域密着事業」、「地域貢献事業」です。地域に密着した地域に貢献する事業を起業するためには、

- ・「思い」を「かたち」にする：身近な課題や問題を発見する。その課題や問題を解決するスモールビジネスを考える。自分の強みを生かす。身の丈サイズで考える。自分でできるところからはじめる。

- ・起業の前に決めること：設立目的(ミッション)、事業内容、組織形態
- ・起業の前に準備す

ること：ヒト、モノ、カネ、情報

★ ★

この講座がきっかけになって、少しでも多くのNPOが稲城市内で活動するようになってもらえたらと思います。なお今回の続編として、11月12日(土)に「誰にでも分かるNPOの会計」と題した講座が予定されています。

(川本)

体験記

金曜サロンへ

金曜の夜は

1階ミーティングコーナーの机を囲んで、オツツ、やっているやっている。恐る恐る「今晚は、初めてですがよろしく。」「そうですか初めてですか、よくいらつしやいました。どうぞどうぞ、こちらにお座りください。今ね、こちらの方とお話していたら、故郷が同じだっていうことが分ったのですよ。とこぞでお宅の故郷は？」という調子で、すんない受け入れて頂きました。アルコールもおつまみも適当にあつて、いい雰囲気・・・。

午後6時半から9時頃まで開設と案内にはありますが、現役の方が帰りに寄られるとかで、時間はずれ込み気味。話題はその時々だそうですが、話題豊富な人ばかり。

り。口べたな私などはもつぱら聞き役。それでも気兼ねなし。

まだ、立ち上がったばかりなので、このサロンをどう運営するかのご意見を聞きたいなと世話人は言っていました。初めてでは意見なし。台風近しで9時半頃にお開きになりました。

ここの開設の趣旨は「市民活動に関心ある方々の出会いの場にしたい」ということでした。ですから、気軽に来ていただき関心のあることについての情報を得たり、話されたいして、これをきっかけに出来るだけ多くの方に、市民活動に参画して欲しいとのことでした。

(豊間根)

ガンバってます

2



▲子どもたちの笑顔が支え・・・

最初は障害のある子を対象におもちゃで遊び、貸出しをする「おもちゃの図書館トトロ」から出発しました。これにしてしまった図書館のおもちゃを治して使い続けるために、「おもちゃの病院」を発足させ、この部分が現在まで続いているそうです。物を大事にする心は、物や人に対する優しい心に通じます。“使い捨て”の気風が当たり前になっ

稲城おもちゃの病院

トトロ

やさしい心を大切に・・・

代表：内藤さゆりさん

今ほ子ども達だけではなく、愛情を持って使い続けてきた道具が壊れてしまい、悲しい思いをしている年配の方々も沢山訪れるとのこと。看板こそ「おもちゃの病院」ですが、物を大事にしている方たちにも広く門戸を広げ、できるだけ、治療の依頼に応えるようにして、皆様に喜ばれています。

(文責：秋廣)

使えるようになって戻ってきた大好きなおもちゃを手にした時の子どもたちの笑顔が、何よりの喜びや支えとなつて、知恵を出し合い楽しく仕事をしています。時々目を白黒させるような大物や難しい治療のものも持ち込まれますが、「何とかして使えようになりたい」という気持ちから大抵のものは無事全快となつて帰っていきます。

トトロのお医者様たちは色々な技術で仕事をしてきた方で、様々な形態のおもちゃに対応しています。使えるようになって戻ってきた大好きなおもちゃを手にした時の子どもたちの笑顔が、何よりの喜びや支えとなつて、知恵を出し合い楽しく仕事をしています。時々目を白黒させるような大物や難しい治療のものも持ち込まれますが、「何とかして使えようになりたい」という気持ちから大抵のものは無事全快となつて帰っていきます。

トトロの

開院日時：毎月第1土曜日 午前10時～午後3時（受付時間は午後1時30分まで）

場所：稲城第3文化センター

※難病の場合は入院もできますが、その際の受け渡しには文化センターが協力をしてくださるそうです。なお、部品交換は実費となりますが、治療費は無料です。

運営協議会

ほうこく

役員会・全体会

8月9日(火)と9月12日(月)午後4時30分から6時30分まで役員会、引き続き9時まで運営協議会を開催し、次の議題について検討しました。

8月

【センター運営に関して】

- ① 登録申請について
- ② 申請者に対する承認について

【事業企画に関して】

- ① NPO講座について
入門編 9月15日・22日・29日に決定
実践編 11月12日に決定
- ② 市民活動フェスティバルについて
- ③ 1のまちいなぎ市民祭につ

いて

- ④ 金曜サロンについて
- ⑤ 日帰り研修について

9月

【センター運営に関して】

- ① 利用登録団体の承認について
- ② 利用登録団体への加入促進について
- ③ 利用登録団体管理票について
- ④ 利用登録証発送について
- ⑤ 当番について

【事業企画に関して】

- ① 金曜サロンの運営について
- ② 金曜サロンスペシャルについて
- ③ NPO講座の役割分担について
- ④ 1のまちいなぎ市民祭について
- ⑤ 市民活動フェスティバルについて
- ⑥ NPO法人化に向けた準備会について

【広報・HPに関して】

- ① NPO講座実践編チラシ作成について
- ② 1のまちいなぎ市民祭パネル作成について
- ③ ホームページについて



▲センター受付から内部をのぞむ

【訂正とお詫び】

8月15日発行の、ニュース第3号で誤りがありましたので、訂正しお詫びします。

◆3ページのカコミ記事「ガンバってます」の写真説明(誤)府中市生涯学習センターにて → (正)府中郷土の森にて

編集後記

南山の「緑の価値」は、年間十二億円だそうです。吃驚です。「酸素供給量」と「二酸化炭素吸収量」で試算したようです。すると、稲城市や多摩全域の緑の資産価値は、一体どれくらいになるのでしょうか。誰が正確な数字を教えてください。地球の温暖化は深刻です。緑の価値は緩上りです。

「南山」には、東京都アセスメント調査によると、オオタカやノスリ、フクロウなど約90種の野鳥が暮らしています。また、レッドリスト対象種の「トウキョウサンショウウオ」や「オオムラサキ」なども棲息しています。里山の植物は、広葉樹を初め多種多様、農作物もたくさん採れます。

南山では、深山に入ったような清涼感が味わえます。こんな里山、可能限り残したいですね。

新しい街が、オオタカやホタルの飛び交う「里山団地」・「都民の憩いの場」なんて素敵じゃないでしょうか。(坂井)